



株式会社 ヒガシ21^{トウエンティワン}
HIGASHI TWENTY ONE CO.,LTD.

株式会社ヒガシトウエンティワン (9029) 個人投資家向けIRセミナー



2024年2月29日

1

会社紹介

2

成長戦略

3

決算概要

4

株主還元

5

サステナビリティ

6

トピックス

1

会社紹介

2

成長戦略

3

決算概要

4

株主還元

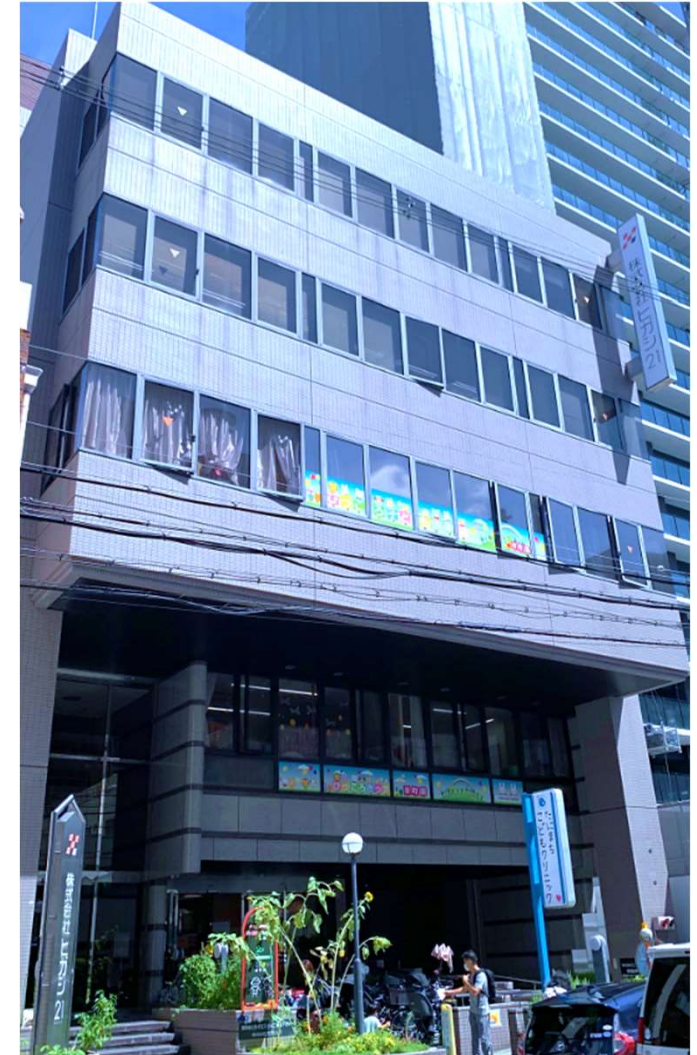
5

サステナビリティ

6

トピックス

名称	株式会社ヒガシトゥエンティワン
本社所在地	〒540-0013 大阪府中央区久宝寺町3-1-9
設立	1944年12月20日
代表者	取締役 代表執行役社長 児島 一裕
上場市場	東京証券取引所スタンダード市場 (証券コード:9029)
資本金	10億円
従業員数	連結: 1,484名(2024年1月1日現在)
グループ会社	8社



創業期(-1970年代)

- ・1944年 大阪市東区内の運送会社13社が統合し、大阪東運送株式会社設立
- ・1947年 日本生命保険相互会社が資本参加
- ・1968年 倉庫事業を開始
- ・1979年 東京営業所を開設し、首都圏へ進出



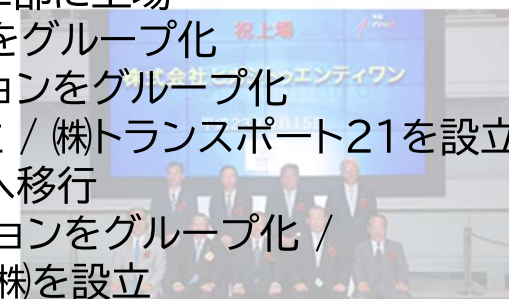
事業多角化(1980年-2000年代)

- ・1988年 ドキュメントサービスを開始
- ・1989年 産業廃棄物収集運搬業許可を取得
- ・1996年 ビル内デリバリー事業を開始
- ・2002年 ヒガシトゥエンティワンに社名変更
- ・2003年 福祉用具レンタル及び販売事業を開始
- ・2005年 ジャスダック証券取引所に株式を上場



総合物流企業へ(2010年代以降)

- ・2011年 東京証券取引所市場第二部に上場
- ・2016年 ユートランスシステム(株)をグループ化
- ・2017年 (株)イシカワコーポレーションをグループ化
- ・2018年 (株)FMサポート21を設立 / (株)トランスポート21を設立
- ・2019年 指名委員会等設置会社へ移行
- ・2020年 (株)ワールドコーポレーションをグループ化 / ヒガシオフィスサービス(株)を設立
- ・2022年 山神運輸工業(株)をグループ化 / (株)旅人をグループ化



特徴的な取組

1968年に業界でいち早く”車両と荷物のマッチングサービス“(備車制度)を導入、協力会社を囲い込み

1996年に東京オペラシティビルにデリバリーセンターを開設、「館内物流事業」の先駆け

1986年にオフィス移転専門部署を設立
2020年に全国でも珍しいオフィス移転専門会社(ヒガシオフィスサービス(株))として分社化

2016年にインフラ会社向けとしては珍しい、資材の購入・配給数の管理・調整業務を、2021年からは電設資材の仕入れ・販売業務(商社機能)をスタート

輸配送を祖業としながら独自性・競争力のある多様な事業展開によって、
幅広い収益ウィングを確保

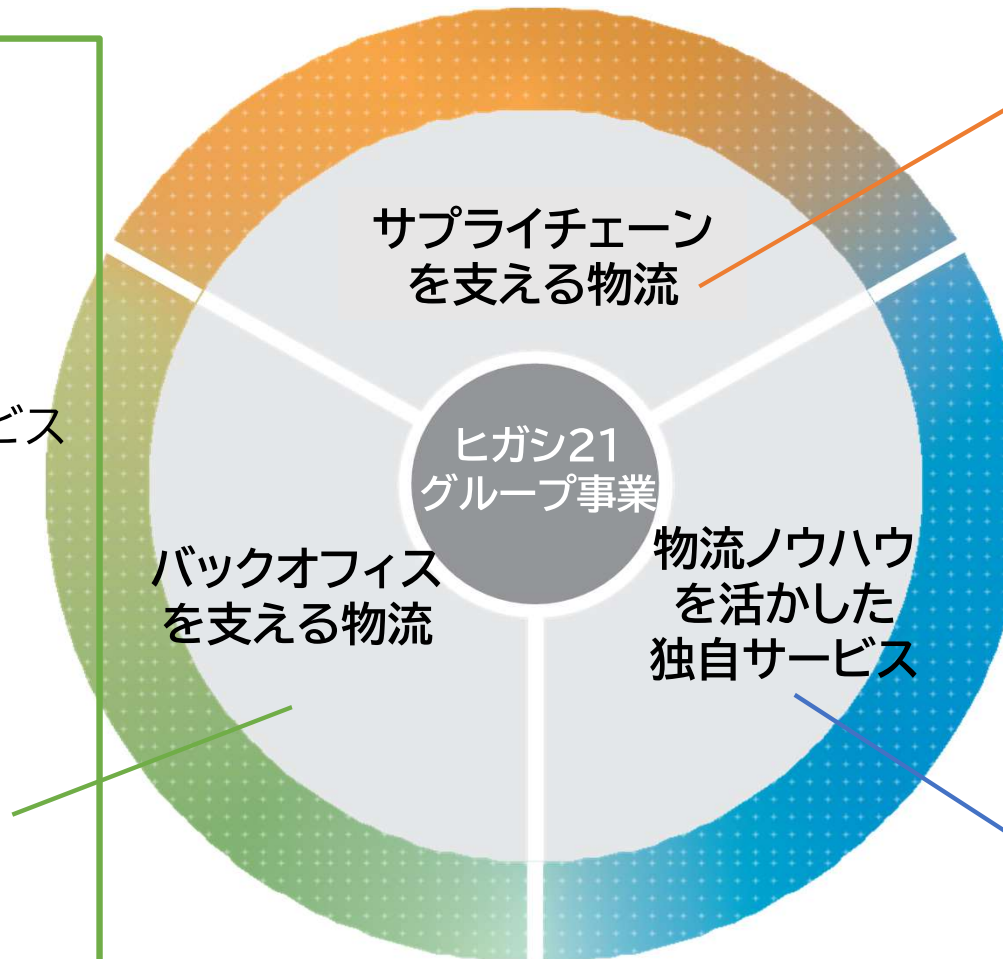
- オフィス移転



- ビル内デリバリーサービス



- 総務系物流・BPOソリューション



- 3PL・総合物流サービス



- PCキitting・IT関連サービス



- 介護用品レンタル・販売サービス





運送及び倉庫事業全般、グループ管理・企画業務



精密機器の運送及び
設置等



【物流】
保管、梱包、封入、
発送業務
【人材・ITサービス】
企業様向け受託業務



ビル館内における総務
サービス業務



運送事業に特化



引越に関わる荷役及び
梱包等



事務所移転業務・引越に
関連するワンストップ
サービスの提供

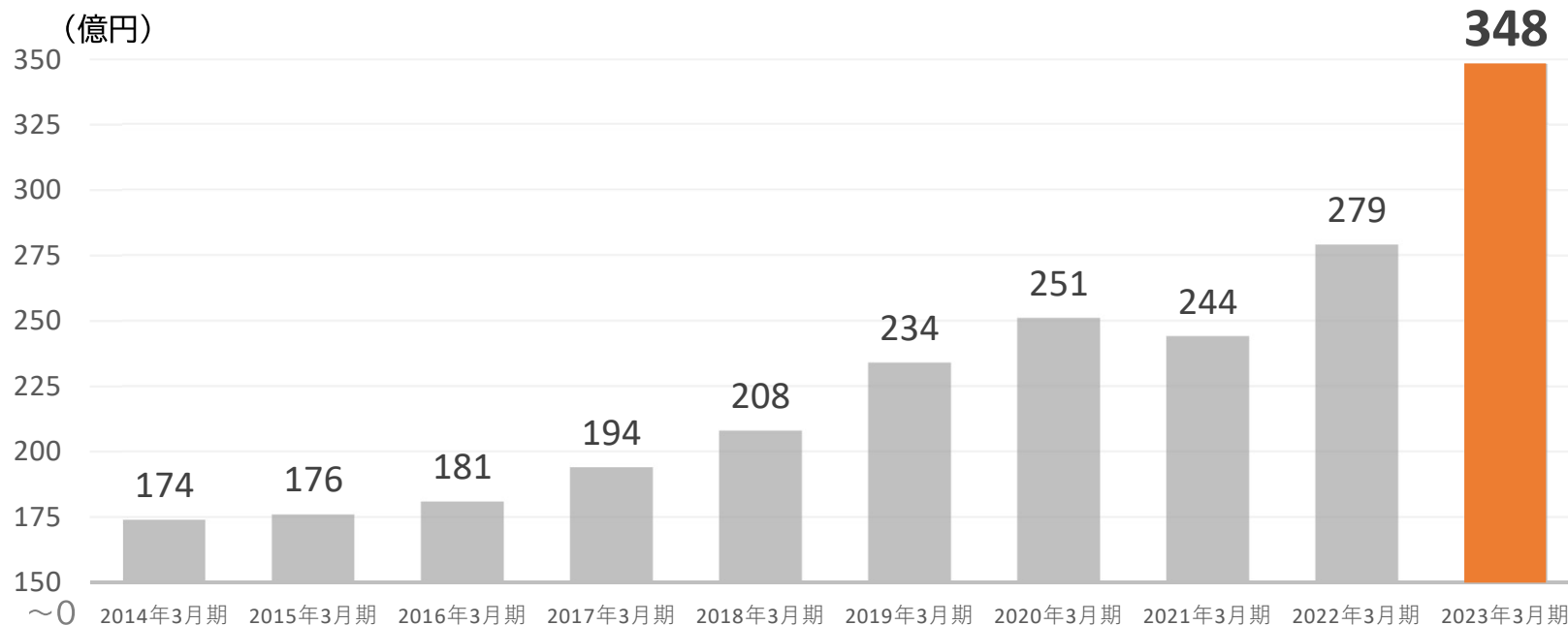


重量物配送・エンジニア
リング事業(機械据付・
メンテナンス等)



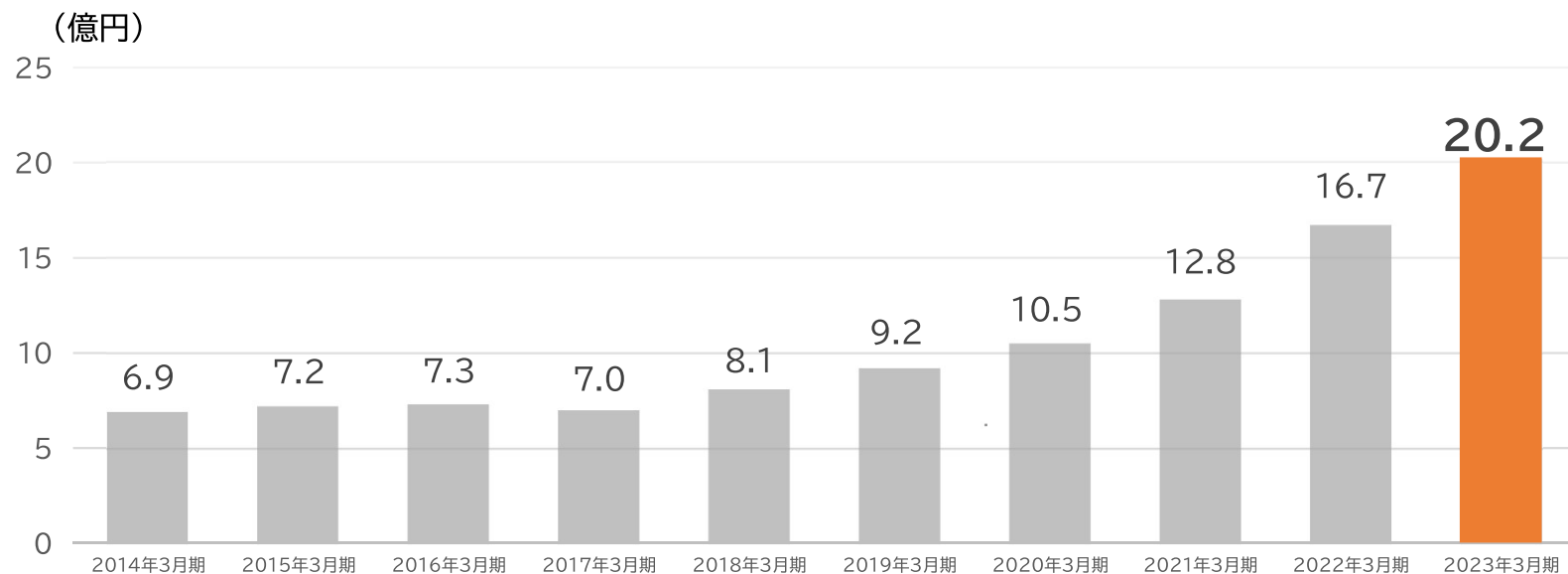
システムに関する技術
サポート全般

売上高



2014年3月期比
+100.0%

経常利益



2014年3月期比
+192.8%

グループパーパス

安心をずっと、驚きをもっと。
人と技術とITで、新たな価値を創造し、豊かな明日へつなぎます。

長期ビジョン(目指す姿・スローガン)

お客様に最高のサービスをお届けするために
変革し続ける企業

Evolution for Customers

———— 全進で未来へ “シンカ” ————

” シンカ ” → 新価＝進化・深化・新化

長期ビジョン

グループVISION2030

経営基本方針

「安全」と「安心」を大切にして
物流事業を通じ社会に奉仕する
私達ヒガシ21

経営方針

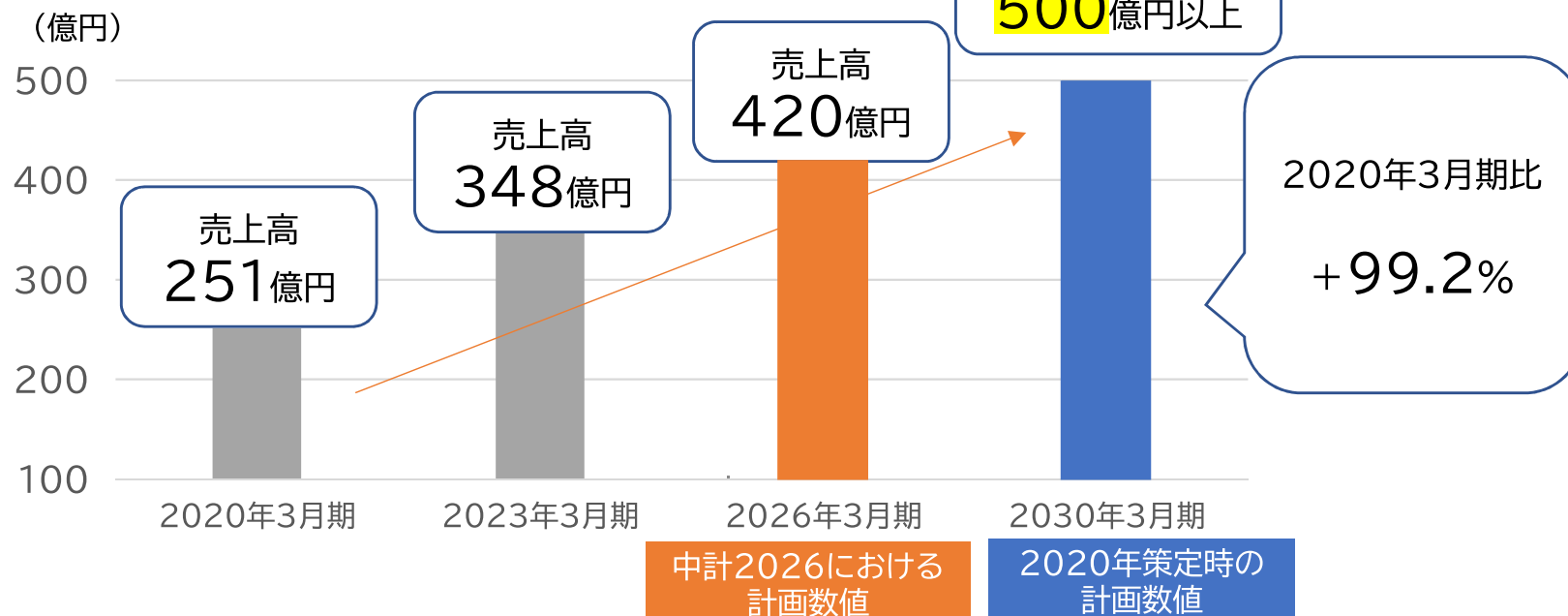
長期ビジョン(目指す姿・スローガン)

お客様に最高のサービスをお届けするために
変革し続ける企業

Evolution for Customers

——— 全進で未来へ “シンカ” ———

グループVISION2030 成長イメージ



①幅広い分野の大手優良顧客層を安定収益基盤としていること

日本生命グループ、関西電力グループ、毎日新聞グループは主要株主でもある

主要顧客上位の売上比率（2023年3月期）（単位：百万円）

順位	顧客	売上高
1	関西電力グループ	5,035
2	日本生命グループ	4,903
3	大手e-コマース会社	2,135
4	大手鉄鋼メーカー	1,022
5	上場オフィス什器メーカー	763
6	毎日新聞社グループ	616
~~~~~		
上位10社売上占有率		47.9%

## ②個々の顧客ニーズに対応した物流設計能力

(※)複雑なモノの流れに対応した【人×倉庫×マテハン×車両×システム】を  
最適に組み合わせる能力を表現した、当社グループの造語



## 大手インフラ会社

## 日本生命

- ・1957年 大手インフラ会社の資材輸送業務開始、翌1958年に専属輸送契約

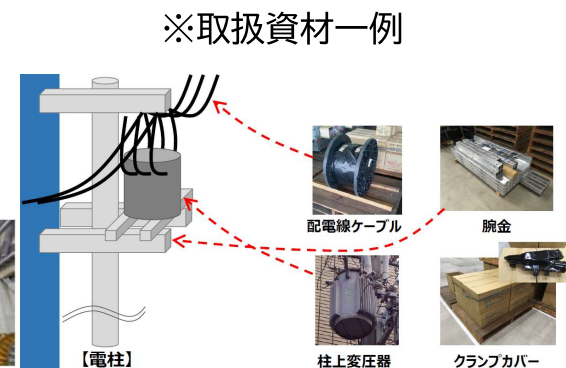
2016年～

大手インフラ会社の物流BPO業務開始(茨木物流センター開設)

入在庫業務

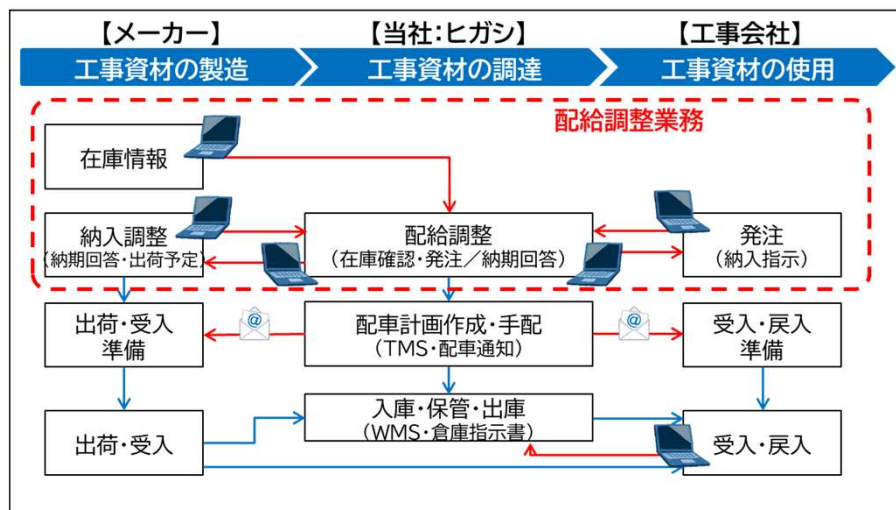
計器配送

保管業務



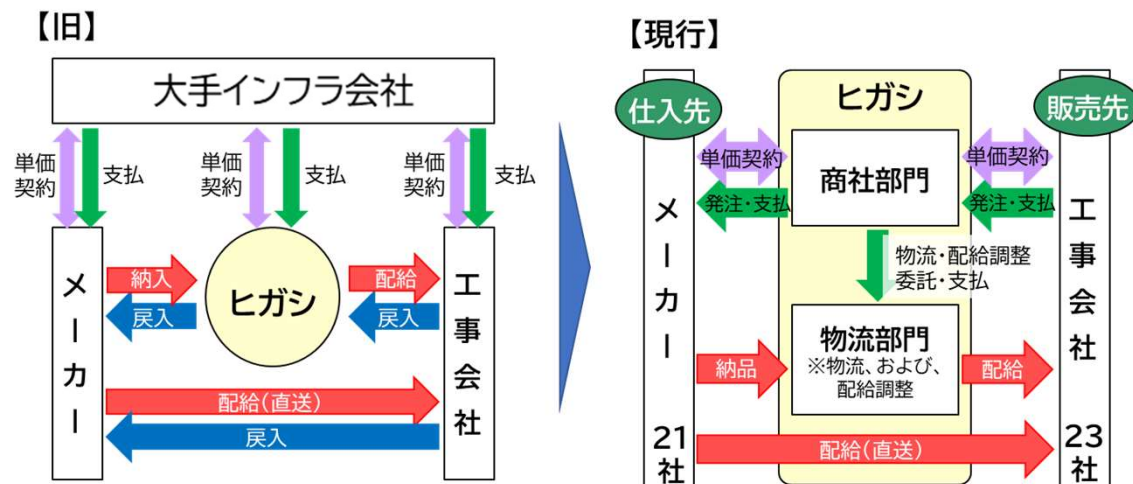
2018年～

電設資材の配給調整業務開始



2021年～

電設副資材の仕入れ・販売業務(商社機能)開始



## 大手インフラ会社

・帳票発送・管理、書類保管、社内物流、消耗品販売等



## 近年拡大

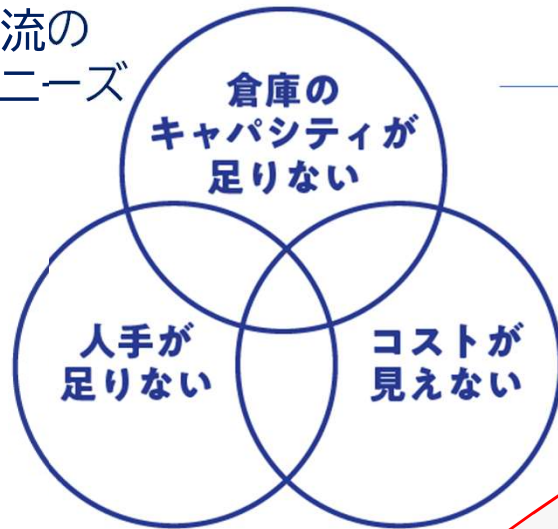
・PCの入替に伴うキitting業務、データ消去・廃棄／・営業端末・営業用スマホのキitting業務



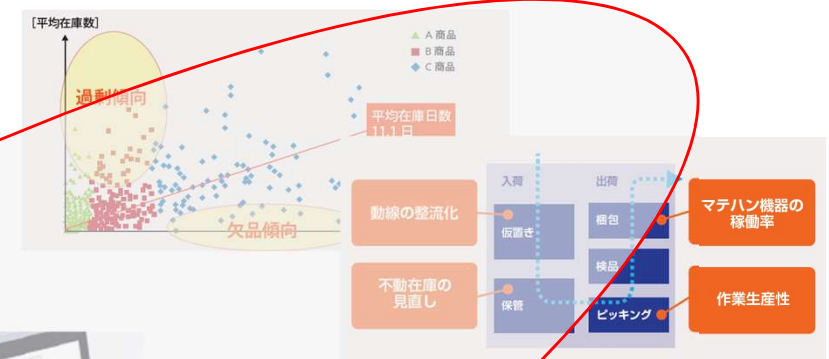


提案から立ち上げ、安定稼働までワンストップで最適なお提案が可能

物流の  
3大ニーズ



在庫分析



拠点分析



稼働分析



多様なソリューション  
提供

改善「提案力」

提案「実現力」

物流設計力

的確な現状分析

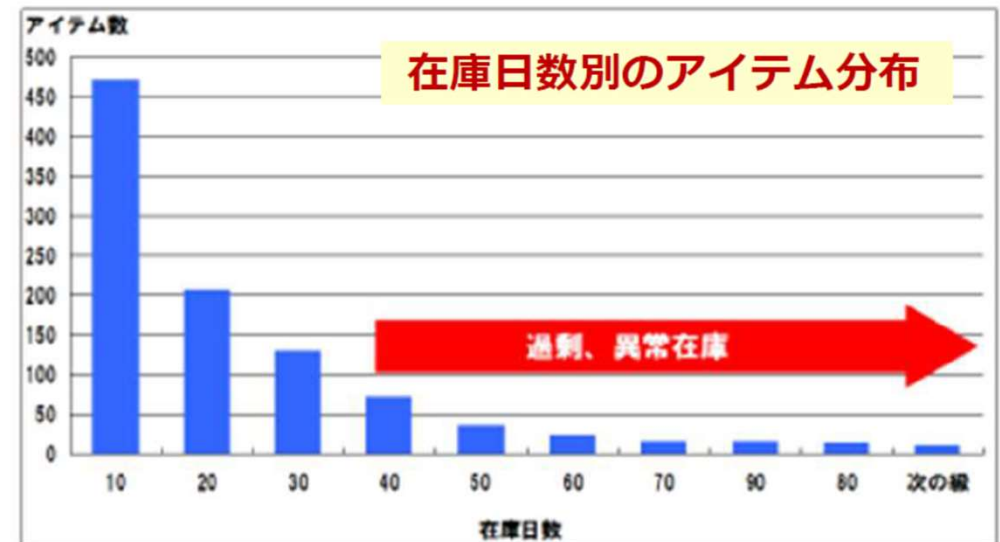
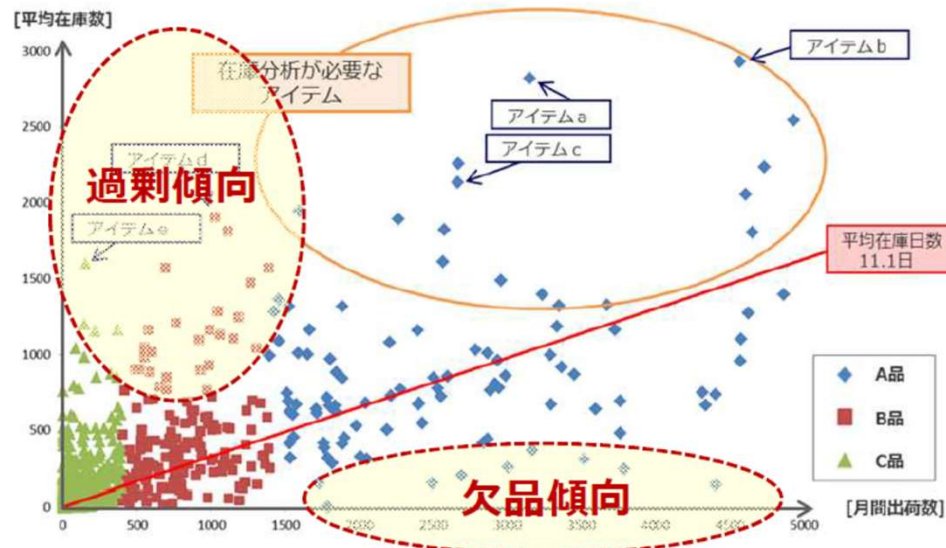
× 課題を解決するソリューション提供

- ・「在庫分析」「拠点分析」「稼働分析」を中心に課題を洗い出し
- ・分析結果をもとに改善提案・実施

在庫分析

在庫傾向分析（マクロ分析）

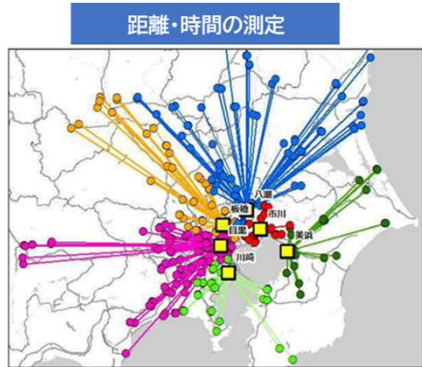
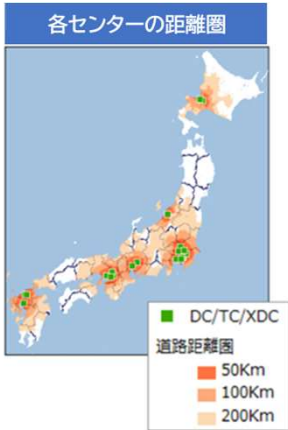
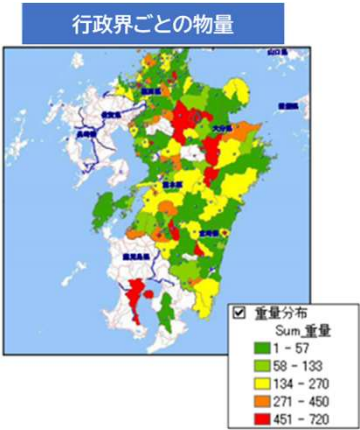
全体で特異のあるアイテムを抽出する→その後個別に検証していく





拠点分析

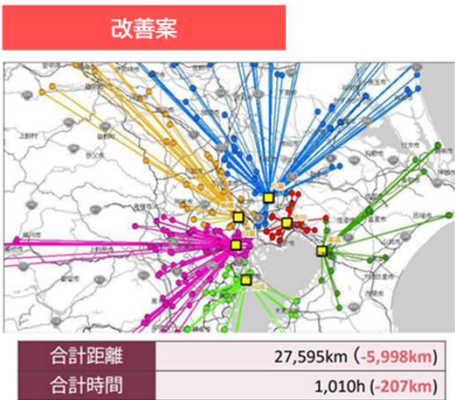
現状分析



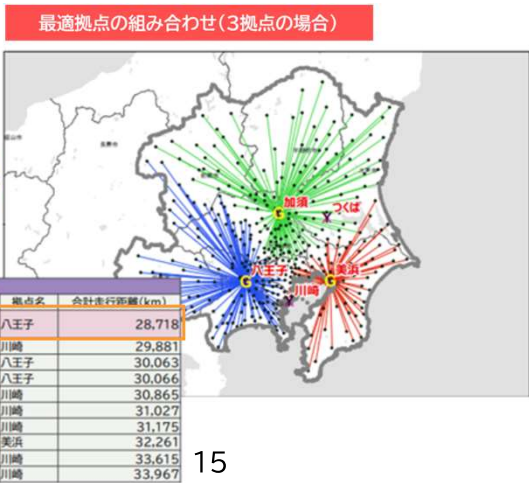
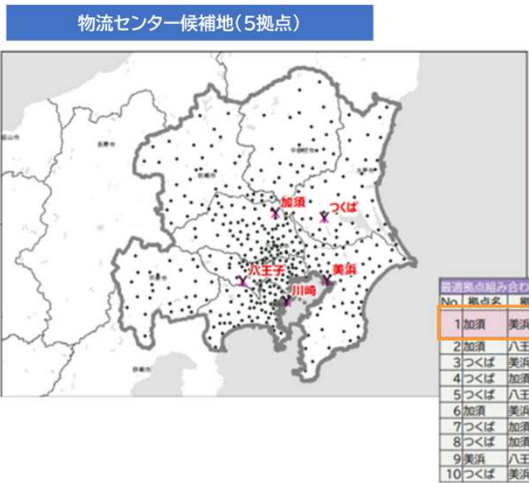
測定結果(Excel)

拠点名	顧客名	時間 分	距離 km
目黒	配送先 2 6 9	11	3.37
目黒	配送先 3 0 6	13	4.41
目黒	配送先 1 1 1	14	4.69
目黒	配送先 2 7 7	15	5.13
目黒	配送先 1 4 1	16	5.94
目黒	配送先 2 9 9	16	5.82
目黒	配送先 1 1 9	17	8.78
目黒	配送先 1 0 8	17	5.95
目黒	配送先 1 2 6	17	5.95
目黒	配送先 1 4 8	17	5.54
目黒	配送先 2 6 5	18	8.7
目黒	配送先 1 0 7	18	7.98
目黒	配送先 1 2 3	18	8.13
目黒	配送先 2 7 2	19	6.2
目黒	配送先 1 1 8	19	9.18
目黒	配送先 1 2 2	20	6.7
目黒	配送先 2 6 4	20	10.65
目黒	配送先 1 2 9	21	6.55

シュミレーション結果



管轄拠点	現行					改善後					改善差分		
	顧客数	合計距離 (km)	合計時間 (時間)	平均距離 (km)	平均時間 (分)	顧客数	合計距離 (km)	合計時間 (時間)	平均距離 (km)	平均時間 (分)	顧客数	合計距離 (km)	合計時間 (時間)
江東拠点	646	9,558	333	14.8	30.9	295	2,746	98	9.3	19.9	-351	-6,812	-235
国志野拠点	205	5,138	188	25.1	55.1	163	3,908	144	24.0	52.9	-42	-1,229	-45
福ヶ浦拠点	56	1,370	50	24.5	53.4	60	1,596	58	26.6	57.7	4	226	8
春日部拠点	77	1,431	51	18.6	39.5	116	2,042	73	17.6	37.6	39	611	22
川口拠点	78	988	37	12.4	28.3	222	2,487	92	11.1	24.7	144	1,499	55
所沢拠点	303	7,618	269	25.1	53.3	177	3,952	141	22.3	47.7	-126	-3,667	-129
川崎拠点	95	909	34	9.6	21.5	419	4,692	170	11.2	24.4	324	3,783	136
相模原拠点	87	1,102	42	12.7	28.7	176	2,453	90	13.9	30.7	89	1,351	48
横浜中井拠点	72	1,532	53	21.3	44.1	66	1,236	43	18.7	39.1	-6	-296	-10
横浜拠点	242	3,967	161	16.4	39.9	167	2,502	103	15.0	37.0	-75	-1,465	-59
計	1,861	33,593	1,217	18.1	39.5	1,861	27,595	1,010	17.0	37.2	0	-5,998	-207



最適拠点の組み合わせ結果

No.	拠点名	拠点名	合計走行距離(km)
1	加須	美浜	28,718
2	加須	八王子	29,881
3	つくば	美浜	30,063
4	つくば	八王子	30,066
5	つくば	川崎	30,865
6	加須	美浜	31,027
7	つくば	加須	31,175
8	つくば	加須	32,261
9	美浜	八王子	33,615
10	つくば	美浜	33,967

## 稼働分析

### ■ 正味作業とそうでない作業の区別

#### 正味作業(付加価値を高める作業)

※これ以外は全て原価を高める要素

(例)入荷:トラックから荷卸し

出荷:トラックに積込む、仕分ける、ピッキング、梱包

#### 付随作業(付加価値の無い作業)

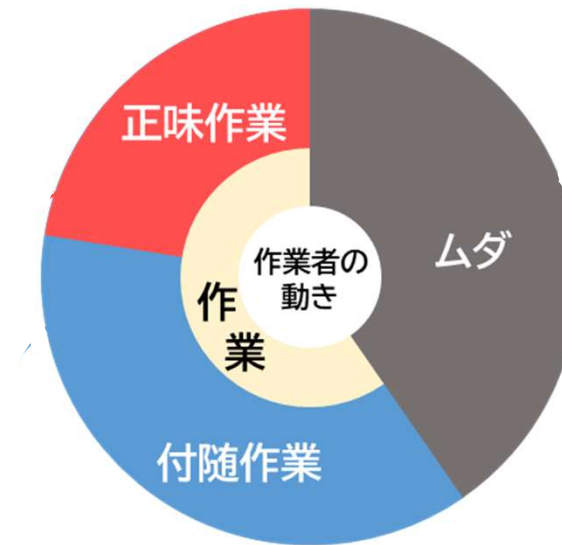
※付加価値は高めないが、今の作業条件の下では、やらなければならないもの

(例)梱包を解く、搬送、仮置き、空パレットを取りに行く

#### ムダ

※作業をしていく上で何ら必要でないもの。  
よってすぐ省けるもの

例)手持ち  
意味の無い搬送  
運搬の二度手間  
持ち替え  
など



### ■ 作業の分類

#### ✓ 稼げる働き

正味作業(付加価値作業)

主体作業

#### ✓ 稼げない働き

コストアップ作業

付随作業

余裕



1

会社紹介

2

成長戦略

3

決算概要

4

株主還元

5

サステナビリティ

6

トピックス

事業をめぐる  
環境認識

労働力人口減少  
特にドライバー不足

物価高・燃料価格高騰  
人件費の上昇

気候変動問題等、  
サステナビリティに関する  
事項への責任ある対応

デジタル活用進展に  
よる生活の変化  
(ECビジネスの拡大等)

複雑化する事業環境のなか、物流事業者への期待・社会的責任は一層高まりを見せる



## 今次中計のテーマ:成長の礎を糧に飛躍する3年

物流事業者として「物流の安定供給への貢献」「責任ある企業経営の実践」に向け、  
前中計での成果を礎に更なる取組を進める

当社の社会的な存在意義・価値を一人ひとりが認識し、志高く業務に取り組んでいくべく、  
今般「グループパーパス」を制定

### グループパーパス

安心をずっと、驚きをもっと。人と技術とITで、新たな価値を創造し、豊かな明日へつなぎます。

テーマ:成長の礎を糧に飛躍する3年

## 中期経営計画2026(2024年3月期～2026年3月期)

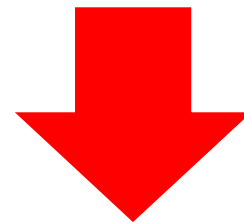
### ◆主要取組◆

サービス提供価値の向上  
(前中期で獲得した経営資源の利活用)

ITサービス事業の更なる強化

サステナビリティ経営の進展

株主還元



2026年3月期(当中期目標)  
売上高 420億円

## 長期経営ビジョン2030(2021/03～2030/03期)

2030年までに目指す姿「お客様へ最高のサービスをお届けするために変革し続ける企業」の実現に向け  
【定量目標】①売上高 500億円以上 ②従業員数1,850名 を掲げる

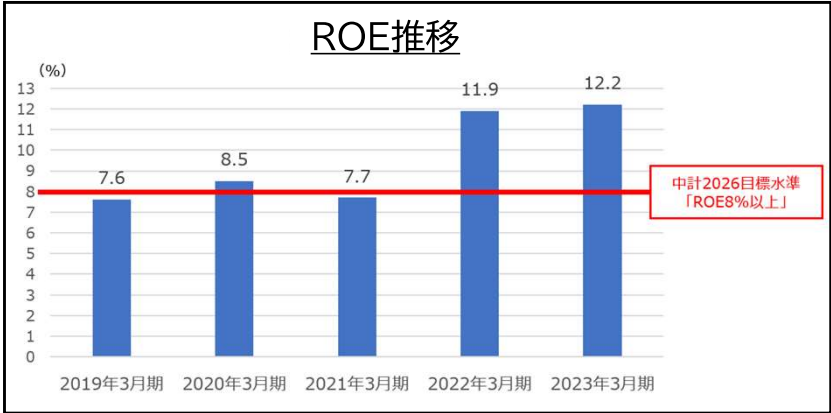
経営目標数値

	2023年3月期 (実績)	中期経営計画2026 (2026年3月期)	趣旨
売上高	348億円	420億円	(詳細は「中期経営計画2026」リリースの事業領域別取組に 事業別の売上成長戦略・目標値を記載)
経常利益	20.2億円	25億円	陸運業の経常利益の中央値5.1%(2022年3月期)を超える 経常利益率6%の確保(付加価値の高い物流サービスの提供)
1株当たり 配当金	30円00銭	36円00銭	下記、配当性向に準拠し、増配を基本方針とする
ROE	12.2%	8%以上	事業拡大に伴う投資費用の影響で、ROEの引下圧力はあるが、 グループ全体として陸運業のROE中央値(7.5%)以上を確保
配当性向	31.0%	30%以上	株主様への還元、継続的な事業規模拡大のための投資、 財務基盤の強化のバランスを勘案した配当性向
従業員数	1,394名	1,600名	移転事業拡大に伴う現場管理者の増員、 3PL事業拡大に伴う倉庫管理者の増員、物流現場力の基礎となる ドライバー、倉庫作業員の確保を中心とした増員



資本コストについて

事業成長に資する大規模投資のため、当期純利益に一定程度下方圧力が生じるが、『伊藤レポートで示されている「ROE8%以上」』、『上場陸運業の中央値「ROE7.5%」』以上の水準を確保するため、中経2026における数量目標として「**ROE8%以上**」を掲げる



株価について

長期的発展の礎となる財務体質の強化と安定配当の維持を基本としつつ、成長により獲得した利益を「**連結配当性向30%以上**」を目安に還元する方針

時系列株価（年足）

	始値	高値	安値	終値	前年比	前年比(%)
2023/10/31迄	725	1,047	716	1,005	+ 287	+ 39.9

年	始値	高値	安値	終値	前年比	前年比(%)
2022	660	732	571	718	+ 78	+ 12.2
2021	555	825	544	640	+ 82	+ 14.7
2020	515	703	408	558	+ 41	+ 7.9
2019	405	528	402	517	+ 89	+ 20.8

→ 計画達成に向けた投資や資本収益性確保については経営会議等の諸会議での審議を通じて、効率的な経営資源配分に取り組んでまいります。



マーケットへの取組内容発信

- 四半期決算説明資料の提供
- 個人投資家向けIRセミナーの開催
- 機関投資家向けミーティング
- オフィシャルサイトのコンテンツ拡充等情報提供強化の継続

中期経営計画2026では、下記区分で事業を大括り化し、各事業領域で成長を目指す

## オフィスサービス

(個人引越含む)

- オフィス移転(数千名～5名程度の小規模まで)、オフィスフロアのレイアウト変更
- 移転に伴う不要什器や備品の買取・廃棄
- 企業の一斉赴任引越・個人引越

## 3PL

- インフラ会社向け資材購入、保管、資材加工、配送
- 大手EC向け入荷、保管、出荷、配送
- 大手工作機械メーカー向け入荷、保管、出荷、配送
- 上記の他、物流業務を包括的に受注する高度の物流サービス

## ITサービス

- IT機器(PC・サーバー・業務用スマホ)のキitting、現地セッティング、保守・メンテ、データ消去→廃棄までのワンストップサービス
- POS端末等のシステム機器の設置・保守・ヘルプデスク対応やITエンジニアの人材派遣など、システムに関する技術サポート全般

## ビルデリバリー

- 館内物流
- メール室業務(業務代行/メール室への人材派遣)
- ビル内テナント様向け総務代行業務(備品購入代行や印刷物の封入・封緘・発送代行等)

## 介護サービス

- 介護支援事業者様向け福祉用具レンタル及び販売事業
- 商品配送・現地組立て・自社専用消毒メンテナンス施設での保守修理から不用品の引取りなどのワンストップサービス

## 基幹

※ 3PL事業領域を除く輸配送等関係業務

- 輸配送業務、倉庫保管
- 物流加工(袋詰め、検品、組立など物流過程で発生する加工業務)
- 産業廃棄物管理(PCB等の特別産業廃棄物の取扱いも可能)
- 機密書類保管、機密書類溶解、社内文書物流(総務系物流)



# 全領域で事業成長

## 基幹事業



## オフィスサービス事業



## 介護サービス事業



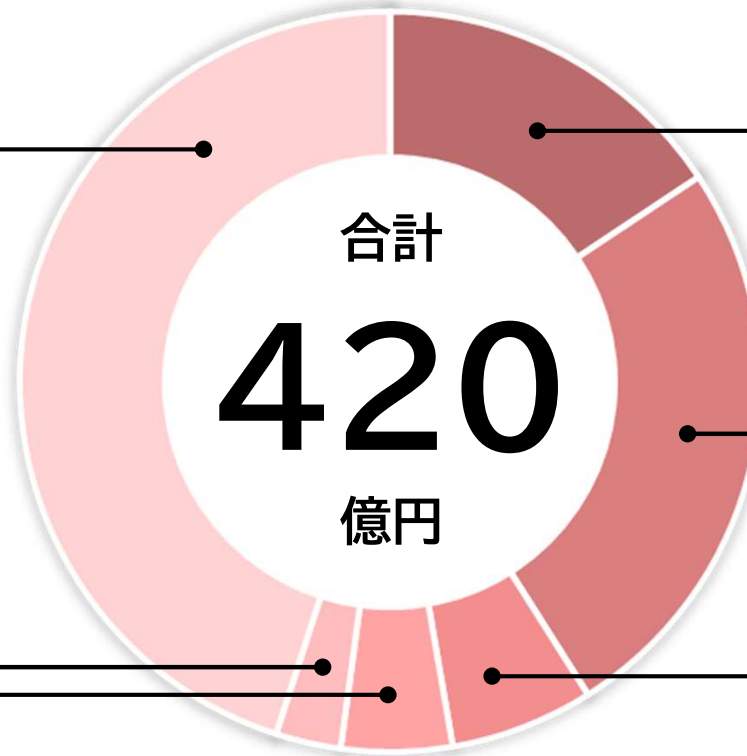
## 3PL事業



## ビルデリバリー事業



## ITサービス事業



1

会社紹介

2

成長戦略

3

決算概要

4

株主還元

5

サステナビリティ

6

トピックス

## 2024年3月期 第3四半期は「売上高・経常利益」共に過去最高を更新

(百万円)

		2024年3月期第3四半期					
		実績				2023年3月期第3四半期との差	
		実績	全体に占める割合(%)	修正予想	修正予想に対する進捗率	増減額	増減率
売上高		29,537	--	40,000	73.8%	4,416	17.6%
	売上総利益	5,784	19.6%	--	--	633	12.3%
	販売費および一般管理費	4,099	13.9%	--	--	403	10.9%
営業利益		1,685	5.7%	2,200	76.6%	229	15.8%
経常利益		1,785	6.0%	2,300	77.6%	231	14.9%
	特別利益	0	0.0%	--	--	0	--
	特別損失	0	0.0%	--	--	△3	△99.6%
親会社株主に帰属する 当期(四半期)純利益		1,127	3.8%	1,445	78.0%	136	13.7%



## 売上高

- **大型3PLセンター(北大阪LC,流山LC・流山ⅡLC,鳴尾浜LC)の開設 ※トピックスにてご紹介**
- 2022年10月からの(株)旅人の連結開始
- その他、大口取引先によるカタログ発送業務の受注、オフィス移転業務の拡大や、大手コンビニよりデジタルサイネージ(広告用ディスプレイ)のキitting業務の受注、大口得意先に対する資材の取扱物量の増加

## 経常利益

- 大型3PLセンター開設に伴う備品・什器・倉庫消耗品の購入等の投資費用や、成長事業への人材投資が発生しているものの**業容拡大、継続的な収支構造改善による損益分岐点の引き下げにより、増益を達成**



旅人のテクニカルサポート事業



オフィス移転事業



キitting業務

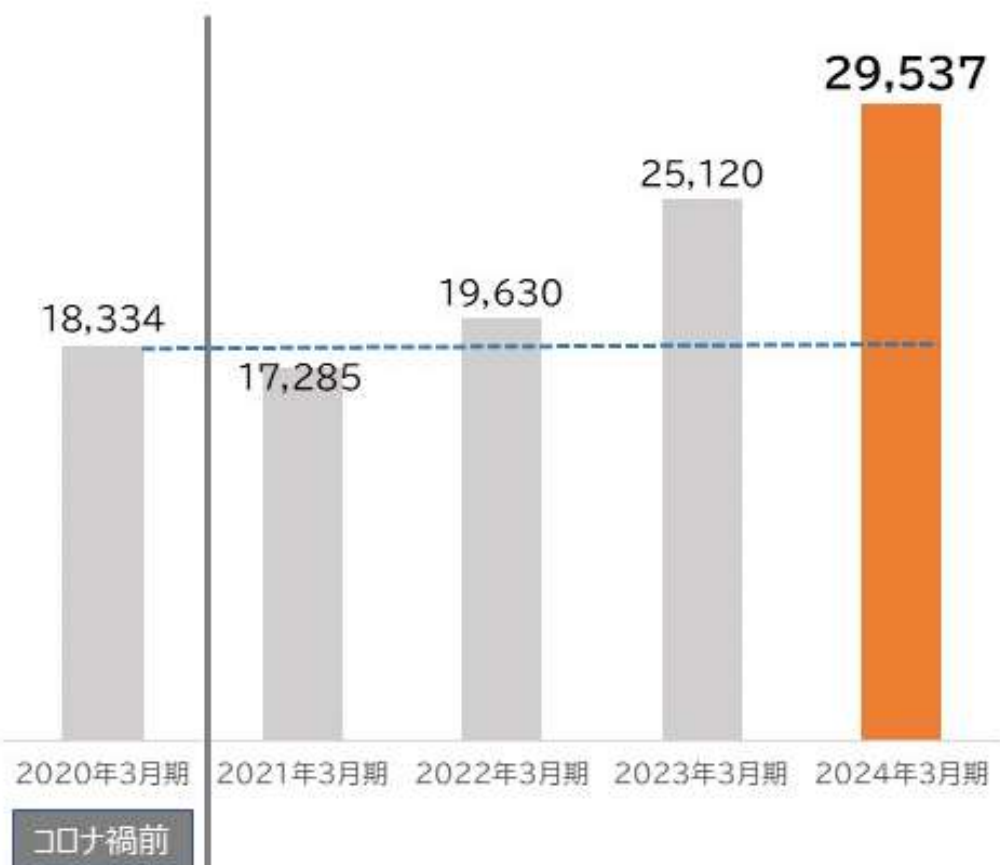


資材販売業務

- 業容拡大、付加価値の高い業務の受注等により、2022年3月期以降は売上高・経常利益ともにコロナ禍前水準を上回り、成長基調を確保

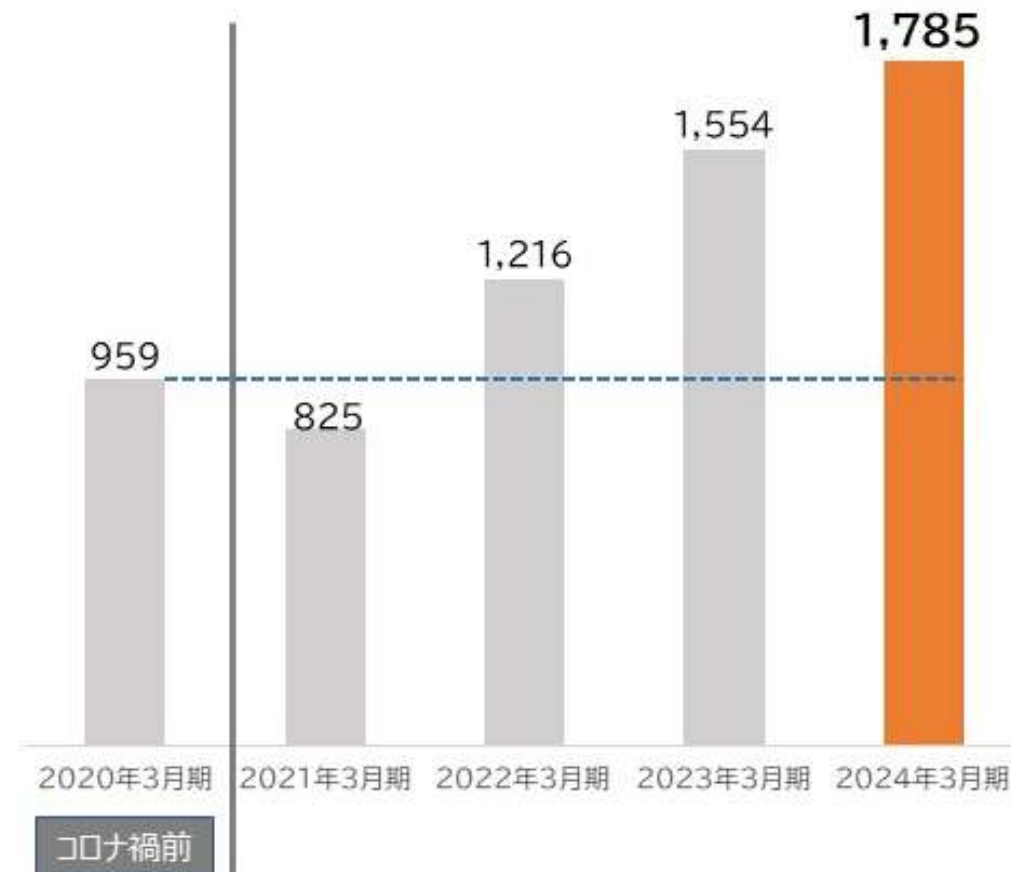
## 売上高（第3四半期）

（百万円）



## 経常利益（第3四半期）

（百万円）



- オフィスサービス事業      ⇒ 関西圏・関東圏での業容拡大の進展等により、増収
- 3PL事業                      ⇒ 大型3PLセンター(北大阪LC、流山LC・流山ⅡLC、鳴尾浜LC)開設等により、増収
- ITサービス事業              ⇒ 大手コンビニよりデジタルサイネージ(広告用ディスプレイ)のキitting業務の  
新規受注や、株旅人を連結開始したこと等により、増収
- ビルデリバリー事業        ⇒ メール室業務の新規受託や、既存ビルデリバリー拠点に入居するテナント企業との  
取引増加等により、増収
- 基幹事業                      ⇒ 大口得意先によるカタログ発送業務の受注や、全体的な取扱物量の回復等により、増収

(百万円)

	2023年3月期		2024年3月期			
	実績	構成比	実績	構成比	前年同期比	
					増減額	増減率
売上高	25,120	--	29,537	--	4,416	17.6%
オフィスサービス事業	3,934	15.7%	4,265	14.4%	330	8.4%
3PL事業	5,852	23.3%	7,965	27.0%	2,113	36.1%
ITサービス事業	1,596	6.4%	2,680	9.1%	1,083	67.9%
ビルデリバリー事業	1,344	5.4%	1,477	5.0%	132	9.9%
介護サービス事業	727	2.9%	796	2.7%	68	9.4%
基幹事業	11,664	46.4%	12,352	41.8%	687	5.9%

## 過去最高を見込んでいた当初予想を2023年10月に上方修正

- 下半期は、大型3PLセンターの安定稼働に向けた人材投資、その他事業領域での更なる成長を支える為の車両投資や、生産性を高める設備投資を実施予定
- 一方で2Qの実績が予算を超過したことに加え、大型3PLセンターにおける当初の想定を上回る物量の増加や、オフィス移転事業の拡大など、通期でも売上高・利益共に当初予算を超過する見込みであるため、上方修正

	2024年3月期 当初予想(2023.04)	
	通期	構成比
売上高	36,000	--
営業利益	2,000	5.6%
経常利益	2,100	5.8%
親会社株主に帰属 する当期純利益	1,320	3.7%
1株当たりの 当期純利益(円)	100.29	--

2024年3月期 修正予想 (2023.10)			
通期	構成比	期初予想との差	
		増減額	増減率
40,000	--	+ 4,000	+11.1%
2,200	5.5%	+ 200	+10.0%
2,300	5.8%	+ 200	+9.5%
1,445	3.6%	+ 125	+9.5%
109.80	--	--	--

参考 (百万円)

2023年3月期	
実績	構成比
34,807	--
1,908	5.5%
2,026	5.8%
1,268	3.6%
96.82	--



1

会社紹介

2

成長戦略

3

決算概要

4

株主還元

5

サステナビリティ

6

トピックス

株価推移(2023/1/5-2024/2/16)



時系列株価 (年足)

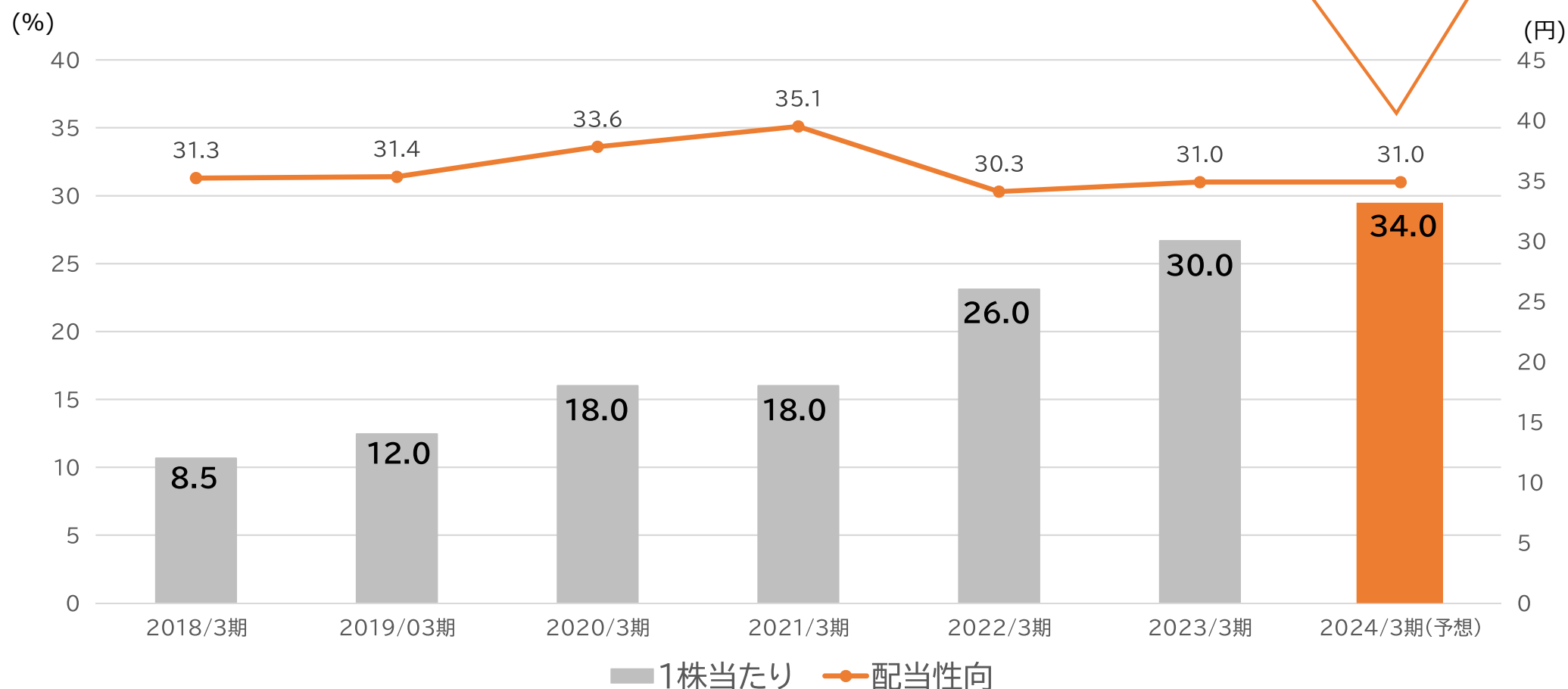
	始値	高値	安値	終値	前年比	前年比(%)	
2024/2/16迄		1,096	1,262	1,084	1,147	+ 63	+ 5.81

年	始値	高値	安値	終値	前年比	前年比(%)	
2023		724	1,209	716	1,084	+ 366	+ 51.0
2022		660	732	571	718	+ 78	+ 12.2
2021		555	825	544	640	+ 82	+ 14.7
2020		515	703	408	558	+ 41	+ 7.9

当社は株主の皆様への利益還元を重要課題の一つと認識しており、連結配当性向30%以上を目安に、安定的かつ継続的な配当を実施していく方針です。

## 1株当たり配当金・配当性向の推移

2024年3月期は、当初予想より2円積み増し  
「1株当たり34円の配当」を予定



## 制度内容

実施回数	毎年1回
基準日	毎年9月末日
優待内容	① 500株以上1,000株未満保有の株主様 ⇒ 1,000円相当のクオカード   ② 1,000株以上2,000株未満保有の株主様 ⇒ 2,000円相当のクオカード   ③ 2,000株以上保有の株主様 ⇒ 4,000円相当のクオカード
長期保有特典	500株以上を1年以上継続保有の株主様 ⇒ 1,000円相当のクオカード



1,000株保有時の計算例（2024年3月期実績 / 予想通りの配当34円の場合）

【前提条件】

配当日は2024年6月：34円予想/株

株価は2024年2月16日基準：1,147円/株

（■投資金額(時価)  $1,147円 \times 1,000株 = 1,147,000円$ ）

■受取配当金  $34円 \times 1,000株 = 34,000円$

■受取株主優待 2,000円

■長期保有特典 1,000円（1年以上保有の場合）

合計 37,000円

株主優待込みの利回り： $37,000円 \div 1,147,000円 \times 100 = 3.23\%$

（優待を除く配当利回りは2.96%）

ご参考：株式平均利回り(2024年1月末時点)※東京証券取引所公表資料

プライム市場の株式平均利回り 2.10% / スタンダード市場の株式平均利回り 2.22%

1

会社紹介

2

成長戦略

3

決算概要

4

株主還元

5

サステナビリティ

6

トピックス

### サステナビリティ経営の強化

- 2021年12月策定のサステナビリティ基本方針に基づき、各種取組を進めている。
- 2023年4月にはサステナビリティ経営の検討と推進を一元的に集約・強化する機能として、社長を委員長とする「サステナビリティ推進委員会」を設置。

#### サステナビリティ基本方針

1. 健全で開かれた企業経営の実現
2. 働きがいのある職場環境作り
3. 人権の尊重
4. 地球環境に配慮した企業活動の実践
5. 法令・コンプライアンスの遵守
6. 社会への貢献

#### ESG主要取組

E

- ◆ GHG(温室効果ガス)排出量削減

- ◆ 人的資本価値向上に向けた取組

S

- ◆ 輸送に関する安全目標達成への取組

- ◆ ひまわりプロジェクトを通じた協賛・支援活動(子どもを支援する取組)

G

- ◆ 取締役会・委員会における独立性・多様性の確保

- ◆ サステナビリティ経営の強化

### 環境に関する取組(E)

#### 低公害車導入推進

- 導入推進と意識啓発に向け、低公害車車両にステッカーを貼付し、運行
- 低公害車トラック10%以上導入目標を設定(2026年3月期)

#### エコドライブの推進

デジタルタコメーターの有効活用によるアイドリング時間の軽減

#### CO2削減電力プランの導入

多久ロジネットセンターでグリーン電力使用による実質CO2排出ゼロを実現

(対2021年度比▲111トン)

- ・ 低公害車推進プロジェクト (車体貼付用ステッカー)



- ・ 多久ロジネットセンター外観



人的資本価値向上への取組(S)

◆ 労働人口減少に伴い人材不足が懸念されるなか、中期経営計画2026達成に向けて採用戦略・労働環境整備等を通じた人材確保、既存人材のスキルアップによる生産性向上に取り組む。

人材育成(教育)

【研修プログラム(見直し)】

匠塾(※)の内容強化 ※物流スキル向上に向けた社内研修	管理職育成研修強化 (管理職候補層へも受講範囲拡大)
女性活躍推進フォロー強化 (特別プログラム受講者への継続フォロー)	フォローアップ研修の新設 (中途採用含む入社3年後の従業員)

人材確保(採用)

【グループ在籍計画と総合職採用(単体)】

		中期経営計画2026			
	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期	
従業員数計画 (翌4月1日時点)	1,394名	(1,440名)	(1,530名)	1,600名	
新卒採用計画 (第2新卒含)	20名	20名	25名	25名	

労働環境整備

主要取組

- ・「働きやすい職場認証制度(国交省)」の二つ星獲得
- ・女性管理職登用の推進(2025年度末10%以上)
- ・男性育児休業取得率向上への取組(毎年度50%以上)
- ・有給休暇取得率向上への取組み(毎年度60%以上)
- ・所定外労働時間圧縮への取組み  
(ドライバーの2024年度問題含む 総合職等は月間20時間以内)
- ・新卒新入社員向けアドバイザープログラムの継続実施
- ・エンゲージメント調査開始





## 安全に関する取組(S)

- ◆ ヒガシ21グループは、「輸送の安全に関する基本的な方針」に基づき、物流事業者として輸送の安全を確保するために「輸送の安全に関する目標」を設定し、安全を徹底する事業活動に取り組む。

### 輸送の安全に関する主要目標

項目	年度達成目標
ヒガシトゥエンティワングループ全体の車両事故率評価	AAA(トリプル A:事故率 2%以内)※
重大事故 (自動車事故報告規則第 2 条に規定する事故)	0件
飲酒運転・過積載違反	0件

※ 車両事故率評価 AAA とは、年間事故件数を全ての所有車両数(事業用・自家用・フォークリフト)で割り パーセント表示したものが 2%以内となる最高の評価。(参考)AA⇒5%以内、A⇒8%以内、B⇒15%以内

### 安全啓発に向けた各取組

安全会議/安全対策委員会/事故審査委員会/事故者面談/安全パトロール/安全衛生大会・協力会社セミナー/  
無事故無違反表彰実施/事故防止強化月間(事故運動)/こどもミュージアムプロジェクト

### 社会貢献活動(S)



ヒガシ21グループでは、太陽のようにあたたかく、ひまわりのようにやさしい気持ちで子どもたちの未来を応援したいという思いを『ひまわりプロジェクト』と名付け、子どもを軸とした取組みを継続展開している。

#### 交通安全啓発



こどもミュージアムプロジェクト・フェスタへの参画(2019年～)



交通安全絵画コンテストの開催(2019年～)



園児向け交通安全教室の開催(2019年～)

#### 協賛・支援活動



ヒーローズカップ(全国小学生ラグビー大会)への協賛(2017年～)



NPO法人ライツオン・チルドレンへのPC寄付(2019年～)



「こころの劇場」(劇団四季)への協賛(2023年～)

## コーポレート・ガバナンス強化の取組み（G）

### 開かれた経営への取組

#### - 2019年指名委員会等設置会社へ移行

##### 取締役会

- ▶ 執行役及び取締役の監督
- ▶ 経営基本方針決定

##### 報酬委員会

- ▶ 中長期的な業績向上につながる役員報酬の検討を通じて、役員報酬の客観性・妥当性を確保

##### 指名委員会

- ▶ 取締役候補の選定プロセスの客観性・妥当性を確保

##### 監査委員会

- ▶ 独立的立場から会社の業務執行が公正妥当か否かを監督

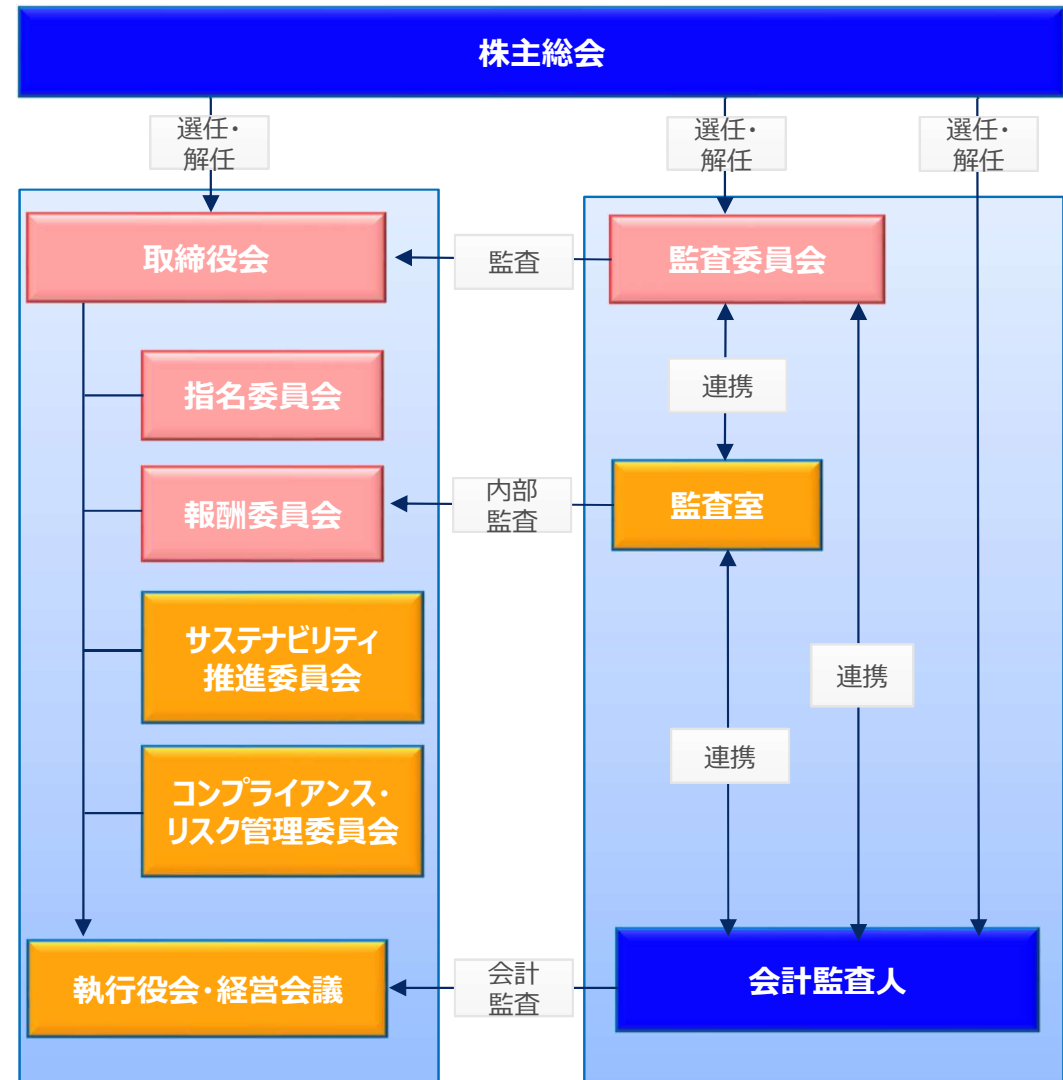
- ・ 上記の会議体全てで社外取締役過半数を確保
- ・ 取締役会は10名（男性8名、女性2名）で構成

#### ※ 指名委員会設置等会社の割合は

プライム4.7%/スタンダード0.7%に留まる

（2023.12.31時点）

### ・ガバナンス体制図



1

会社紹介

2

成長戦略

3

決算概要

4

株主還元

5

サステナビリティ

6

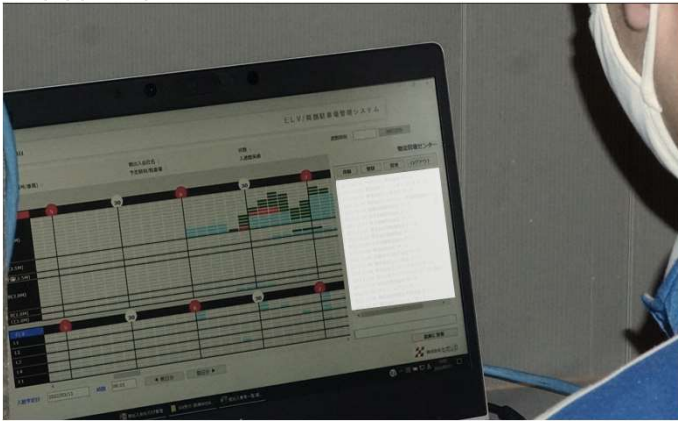
トピックス



## デジタル対応

### 独自のELV/荷捌管理システム

<自社で開発>



### カメレオンコードによる配送管理

<技術導入>



## 大型マテハンの採用

### 自動コンベアやソーター



デジタル技術や大型マテハンの導入によって、効率性向上とともに事業競争力を確保・強化

- デジタル技術はサプライチェーンの可視化につながるため製品の移動や在庫の追跡による最適な拠点立地・積載効率向上・共同配送網の構築など、物流改善・効率化に活用可能
- 大型マテハンによる省人化・省力化で人手不足に対応  
→ こうした取組は2024年問題への対応として重要と認識



## 新規のEC向け3PL業務受託開始に伴い 『3センター・4拠点』を新規開設

### ▶ 北大阪 L C

- ⇒ 主要高速道路へスムーズなアクセス可能な好立地
- ⇒ 高い倉庫能力
- ⇒ センターの高い機能性を活かし、大手e-コマース向け 3 P L 業務を行う

2023年4月 OPEN  
(5,700坪)  
大阪府茨木市



### ▶ 鳴尾浜 L C

- ⇒ 大手e-コマース向け 3 P L 業務を行い、関西圏での3PL事業を拡大

2023年4月 OPEN  
(5,500坪)  
兵庫県西宮市



### ▶ 流山 L C ・ 流山Ⅱ L C

- ⇒ 東日本最大の延床面積かつ国内最大の1フロア延床面積を有する
- ⇒ 広大な延床面積を活かし、大手e-コマース向けに複数の 3 P L 業務を行う

2023年4月 OPEN  
(14,800坪)  
千葉県流山市



- ・ 大手ECの3PL業務の新規受託に伴い、当社グループ史上最大規模となる拠点「神戸西ロジスティクスセンター」を開設予定



建物名称	神戸西ロジスティクスセンター
本社所在地	兵庫県神戸市西区見津が丘1丁目26 →神戸電鉄粟生線「木津」駅から徒歩6分 山陽自動車道「神戸西」ICから約1.5km
延床面積	16,576坪（1棟）
稼働開始	2024年3月（予定）

- ・ 愛知県小牧市で用地を新規に取得し、新倉庫「小牧ロジスティクスセンター(仮称)」の工事に着手
- ・ 天井クレーンを設置し、重量物・鋼材保管なども含めた多様な品目に対応可能



建物名称	小牧ロジスティクスセンター(仮称)
本社所在地	愛知県小牧市小木南2丁目1-1 →名古屋高速道路「小牧南IC」から約1km 名神高速道路「小牧IC」から約4km
延床面積	約5,100坪 (地上2階)
竣工	2025年2月 (予定)



## ・ 東京NH営業室 美女木センターにおいて「ISMS認証」を取得

今回取得した制度は、組織の情報セキュリティのための仕組みが国際規格に適合していることを証明する制度で、ISO/IEC 27001国際規格に沿って、情報セキュリティを確保するための仕組みをもち、その仕組みを維持し継続的に改善していることが、ISMS認証機関により認められたものです。

※ISMSとは、Information Security Management System(情報セキュリティマネジメントシステム)の略称で、情報の「機密性」、「完全性」、「可用性」を保護するための体系的な仕組みのこと



JQA-IM2056

NH事業部 東京NH営業室 美女木センター

<倉庫外観>



<作業エリア>



業務内容：  
受託契約に基づく物流統括業務及び物流センターの運営業務(荷受・保管・仕分・発送)の管理  
(外部委託業者への作業指示、検収、及び委託データの取り扱い)

## 2023年度「こころの劇場」大阪府公演へ 協賛/運営ボランティアとして参加

### 「こころの劇場」

(主催:一般財団法人舞台芸術センター/劇団四季、後援:文化庁)

→全国の小学生を学校単位で劇団四季ファミリー  
ミュージカル公演へ無料招待するプロジェクト

### <運営ボランティアの様子>



## 第16回大樹生命ヒーローズカップ決勝大会 への協賛

### 「ヒーローズカップ」

→青少年のラグビー活動を通じて豊かな社会の創造  
と次世代育成を目指すNPO法人ヒーローズ主催の  
全国小学生ラグビーフットボール大会で、当社グ  
ループは2017年度から毎年協賛を行っている。

### <大会当日の様子>





## (注意事項)

- 本資料は、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資への勧誘を目的としたものではありません。
- 記載されている内容は、ヒガシ21グループの将来についての計画や戦略、業績に関する予想及び見通しの記述が含まれております。これらの記述は、当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定及び所信に基づく見込みです。また、経済動向、市場需要、税制や諸制度などに関するリスクや不確実性を含んでおります。このため、将来の業績は当社の見込みと異なる可能性があります。
- 今後、新たな情報・将来の出来事等があった場合でも、当社は、本資料に含まれる業績に関する予想及び見通しの記述の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

## ■コーポレートサイトURL

<https://www.e-higashi.co.jp/>

その他、各種情報を配信しておりますのでぜひご登録ください

